



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社KADOKAWA
コード番号 9468 URL <https://group.kadokawa.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役 代表執行役社長 CEO (氏名) 夏野 剛
問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画局長 (氏名) 鈴木 達朗 TEL 03-5216-8212
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	58,835	△8.4	3,267	△66.0	6,101	△50.4	3,843	△49.7
2023年3月期第1四半期	64,264	23.5	9,622	63.9	12,289	100.0	7,638	89.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 7,108百万円 (△21.5%) 2023年3月期第1四半期 9,055百万円 (104.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	EBITDA	
	円 銭	円 銭	百万円	%
2024年3月期第1四半期	27.59	27.58	4,673	△57.2
2023年3月期第1四半期	54.85	54.84	10,931	54.2

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	369,282	222,183	54.5	1,453.74
2023年3月期	382,898	223,171	52.9	1,450.27

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 201,317百万円 2023年3月期 202,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	EBITDA	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	百万円	%
通期	251,150	△1.7	17,800	△31.4	18,200	△31.8	10,900	△14.0	78.05	24,200	△24.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：有

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	141,784,120株	2023年3月期	141,784,120株
2024年3月期1Q	3,301,575株	2023年3月期	2,121,343株
2024年3月期1Q	139,301,329株	2023年3月期1Q	139,258,225株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社グループは、中長期的な成長及び企業価値の向上を図るべく、出版、映像、ゲーム、Webサービス、教育事業等において、多彩なポートフォリオから成るIP（Intellectual Property）を安定的に創出し、さらにテクノロジーをより一層活用することで、それらを世界に広く展開することを中核とする「グローバル・メディアミックス with Technology」の推進を基本戦略としております。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高588億35百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益32億67百万円（前年同期比66.0%減）、経常利益61億1百万円（前年同期比50.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益38億43百万円（前年同期比49.7%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメントの業績は、以下のとおりです。

[出版事業]

出版事業では、書籍、雑誌及び電子書籍・電子雑誌の販売、雑誌広告・Web広告の販売、権利許諾等を行っております。当事業においては、メディアミックス展開の重要な源泉として年間約5,000タイトルにおよぶ新作を継続的に発行しており、蓄積された豊富な作品アーカイブが当社グループ成長の原動力となっております。

電子書籍・電子雑誌は、市場全体の成長に若干の鈍化が見られるものの、微増収となりました。

書籍・雑誌では、米国における直近数年間の急激な需要増の反動による書店の発注抑制・返品増等により、海外事業が減収となりました。国内では、新刊点数が増加したものの、市場全体の縮小影響が大きく、減収となりました。新刊では、『気になってる人が男じゃなかった VOL.1』、『光が死んだ夏（3）』、『山田さんとLv999の恋をする（7）』等の販売が売上高に貢献しました。また、権利許諾収入は増収となりました。

費用面では、中長期的な成長を見据えた人員増強、新物流設備への投資等が増加しました。

この結果、当事業の売上高は323億81百万円（前年同期比1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は10億28百万円（前年同期比60.0%減）となりました。

なお現在、さらなる返品削減、製造コスト削減、利益率の向上を目指し、文庫やライトノベル、新書、コミック等のデジタル印刷による小ロット・適時製造を行う書籍製造工場の稼働率を段階的に高めているところであります。物流設備についても今夏の稼働開始に向け準備を進めております。

[映像事業]

映像事業では、実写映像及びアニメの企画・製作・配給、映像配信権等の権利許諾、パッケージソフトの販売等を行っております。

アニメでは、『【推しの子】』や『この素晴らしい世界に爆焔を！』等、人気タイトルの国内外での配信向け収入及びその他権利許諾を中心に力強く成長しました。実写映像では、『わたしの幸せな結婚』が引き続き貢献し増収となりました。

この結果、当事業の売上高は106億63百万円（前年同期比15.2%増）、セグメント利益（営業利益）は14億97百万円（前年同期比120.2%増）となりました。

[ゲーム事業]

ゲーム事業では、ゲームソフトウェア及びネットワークゲームの企画・開発・販売、権利許諾等を行っております。

6月に発売した㈱スパイク・チュンソフトの新作『超探偵事件簿 レインコード』が売上高に貢献したものの、前期の『ELDEN RING』の業績貢献が大きかった影響により、当事業の売上高は43億8百万円（前年同期比65.8%減）、セグメント利益（営業利益）は11億56百万円（前年同期比82.4%減）となりました。

[Webサービス事業]

Webサービス事業では、動画コミュニティサービスの運営、各種イベントの企画・運営、モバイルコンテンツの配信等を行っております。

動画コミュニティサービスでは、動画配信サービス「ニコニコ」の月額有料会員（プレミアム会員）が6月末には130万人となり、前年6月末から減少となったことに加え、投資効果に鑑み一部広告関連サービスを縮小させたことで減収となりました。利益面では、この減収影響に加え、「アニメ」、「ゲーム」等の注力ジャンルへのコンテンツ制作費等の費用投下により、減益となりました。

この結果、当事業の売上高は54億27百万円（前年同期比5.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億6百万円（前年同期比71.2%減）となりました。

[教育事業]

教育事業では、専門校運営及びオンライン教育のための教育コンテンツ・システム提供等を行っております。

クリエイティブ分野の人材育成スクールを運営する㈱バンタンでは、展開地域拡大による生徒数増加や、生徒向け教材販売の貢献により、増収となりました。また、インターネットによる通信制高校であるN高等学校・S高等学校等に教育コンテンツ・システムの提供を行う㈱ドワンゴは、同校の通学コース向け新キャンパス開設等による生徒数増加を受け、引き続き好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は35億31百万円（前年同期比7.7%増）、セグメント利益（営業利益）は7億68百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

[その他事業]

その他事業では、IP体験施設の運営、キャラクターグッズ等の企画・販売を行うMD事業等を行っております。

IP体験施設の運営では増収となったことに加え、一部事業撤退の効果により営業利益も改善しました。MD事業では、フィギュアのラインナップ拡充やオンラインくじの好調が同事業の成長をけん引しました。また、その他新規事業では一部サービスの拡大により増収となりました。

この結果、当事業の売上高は49億39百万円（前年同期比30.1%増）、セグメント損失（営業損失）は8億64百万円（前年同期 営業損失10億22百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて136億16百万円減少し、3,692億82百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて126億27百万円減少し、1,470億99百万円となりました。これは主に未払金、未払法人税等及び賞与引当金が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて9億88百万円減少し、2,221億83百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより利益剰余金が増加した一方、配当金の支払いにより利益剰余金が減少し、さらに自己株式の取得により株主資本が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を計上したものの、賞与及び法人税等の支払い等により、31億32百万円の支出（前年同期は39億34百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預け入れや有形固定資産及び無形固定資産の取得等により、50億10百万円の支出（前年同期は69億99百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い、自己株式の取得による支出及び自己株式の取得のための預け金の増加等により、103億47百万円の支出（前年同期は44億60百万円の支出）となりました。

以上の結果、為替換算差額も含めて171億39百万円の支出となり、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、1,142億49百万円となりました。

当社グループの短期運転資金は基本的に自己資金より充当し、設備投資資金や長期運転資金につきましては、事業計画に基づく資金需要、金利動向等の調達環境を勘案の上、金融機関からの長期借入や社債発行及び株式発行により適宜調達を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想については、2023年5月11日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,219	153,249
受取手形	2,123	1,927
売掛金	48,670	43,792
契約資産	2,627	1,914
棚卸資産	25,587	27,455
前払費用	1,973	2,872
預け金	4,716	6,186
その他	11,392	11,826
貸倒引当金	△341	△369
流動資産合計	263,968	248,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,448	39,082
減価償却累計額	△11,720	△11,916
建物及び構築物 (純額)	26,728	27,165
機械及び装置	4,032	4,082
減価償却累計額	△2,240	△2,396
機械及び装置 (純額)	1,792	1,685
工具、器具及び備品	9,105	9,075
減価償却累計額	△6,304	△6,361
工具、器具及び備品 (純額)	2,801	2,714
土地	26,294	26,287
建設仮勘定	10,283	9,627
その他	1,174	1,161
減価償却累計額	△500	△539
その他 (純額)	674	622
有形固定資産合計	68,574	68,103
無形固定資産		
ソフトウェア	6,128	6,519
のれん	684	652
その他	2,086	2,207
無形固定資産合計	8,899	9,378
投資その他の資産		
投資有価証券	32,538	35,962
退職給付に係る資産	23	33
繰延税金資産	3,209	1,349
保険積立金	1,497	1,521
差入保証金	3,672	3,606
その他	765	720
貸倒引当金	△250	△248
投資その他の資産合計	41,455	42,945
固定資産合計	118,930	120,428
資産合計	382,898	369,282

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,219	30,324
1年内返済予定の長期借入金	40,046	40,048
未払金	14,474	7,892
未払法人税等	4,010	604
契約負債	13,822	11,660
預り金	9,132	9,887
賞与引当金	4,925	2,440
返金負債	5,826	5,046
株式給付引当金	605	607
役員株式給付引当金	2,088	2,102
その他	4,765	4,945
流動負債合計	128,918	115,561
固定負債		
長期借入金	25,219	25,206
繰延税金負債	408	1,168
退職給付に係る負債	3,531	3,511
その他	1,648	1,652
固定負債合計	30,808	31,537
負債合計	159,727	147,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,624	40,624
資本剰余金	76,290	76,290
利益剰余金	75,455	75,045
自己株式	△2,587	△6,408
株主資本合計	189,783	185,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,981	12,545
為替換算調整勘定	2,533	2,999
退職給付に係る調整累計額	250	218
その他の包括利益累計額合計	12,765	15,764
非支配株主持分	20,622	20,866
純資産合計	223,171	222,183
負債純資産合計	382,898	369,282

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	64,264	58,835
売上原価	38,209	39,783
売上総利益	26,054	19,051
販売費及び一般管理費	16,431	15,783
営業利益	9,622	3,267
営業外収益		
受取利息	59	205
受取配当金	564	542
持分法による投資利益	146	267
為替差益	1,858	1,804
物品売却益	17	21
その他	51	22
営業外収益合計	2,697	2,864
営業外費用		
支払利息	26	23
その他	4	7
営業外費用合計	30	30
経常利益	12,289	6,101
特別利益		
固定資産売却益	1	1
会員権売却益	36	—
その他	4	—
特別利益合計	41	1
特別損失		
固定資産売却損	5	—
減損損失	—	34
投資有価証券評価損	17	—
会員権売却損	—	24
解約違約金	—	7
その他	—	2
特別損失合計	22	68
税金等調整前四半期純利益	12,308	6,034
法人税等	4,404	1,967
四半期純利益	7,904	4,066
非支配株主に帰属する四半期純利益	266	223
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,638	3,843

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,904	4,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	409	2,564
為替換算調整勘定	756	498
退職給付に係る調整額	△30	△31
持分法適用会社に対する持分相当額	15	10
その他の包括利益合計	1,151	3,041
四半期包括利益	9,055	7,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,602	6,842
非支配株主に係る四半期包括利益	453	265

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,308	6,034
減価償却費	1,282	1,369
減損損失	—	34
のれん償却額	26	35
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△58	△77
返金負債の増減額 (△は減少)	△787	△786
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46	△2,484
受取利息及び受取配当金	△623	△748
為替差損益 (△は益)	△1,398	△1,423
持分法による投資損益 (△は益)	△146	△267
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,315	5,830
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△531	△1,815
仕入債務の増減額 (△は減少)	△884	1,084
契約負債の増減額 (△は減少)	△1,702	△2,168
その他	△2,986	△3,443
小計	5,861	1,172
利息及び配当金の受取額	1,170	1,308
利息の支払額	△18	△17
法人税等の支払額	△3,079	△5,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,934	△3,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△5,302	△2,684
有形固定資産の取得による支出	△768	△779
無形固定資産の取得による支出	△799	△1,444
投資有価証券の取得による支出	△129	△49
投資有価証券の売却による収入	14	—
その他	△13	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,999	△5,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△11
自己株式の取得による支出	△1	△3,820
自己株式の取得のための預け金の増減額 (△は増加)	—	△2,179
配当金の支払額	△4,239	△4,253
その他	△220	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,460	△10,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,399	1,350
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,126	△17,139
現金及び現金同等物の期首残高	97,579	131,389
現金及び現金同等物の四半期末残高	91,452	114,249

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益及び費用は、従来、当該在外子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間の期首より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、当社グループにおける海外比重の増加及び為替相場の動向を踏まえ、一時的な為替相場の変動による期間損益への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	出版	映像	ゲーム	Web サービス	教育				
売上高									
外部顧客への売上高	31,590	9,128	12,569	5,669	3,275	2,030	64,264	—	64,264
セグメント間の内部 売上高又は振替高	362	128	12	57	2	1,764	2,327	△2,327	—
計	31,953	9,256	12,582	5,726	3,277	3,795	66,591	△2,327	64,264
セグメント利益又は 損失(△)	2,571	680	6,569	369	804	△1,022	9,973	△351	9,622

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、IP体験施設の運営やキャラクターグッズ等の企画・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△351百万円の主な内訳は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△351百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	米国	アジア	その他	合計
47,291	10,857	3,767	2,347	64,264

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	出版	映像	ゲーム	Web サービス	教育				
売上高									
外部顧客への売上高	31,969	10,532	4,298	5,326	3,529	3,178	58,835	—	58,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	412	130	10	100	1	1,760	2,415	△2,415	—
計	32,381	10,663	4,308	5,427	3,531	4,939	61,250	△2,415	58,835
セグメント利益又は 損失(△)	1,028	1,497	1,156	106	768	△864	3,692	△424	3,267

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、IP体験施設の運営やキャラクターグッズ等の企画・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△424百万円の主な内訳は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	米国	アジア	その他	合計
48,816	5,866	3,268	883	58,835

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。